

医療を取り巻く環境が大きく変化していくなかで、医師はいかにして、国民の生命と健康を守り、地域医療を担い続けていくのか。

## 令和8年度シンポジウム

# 未来ビジョン 若手医師の挑戦

令和8年  
4月18日(土)  
13:30 ~ 16:00

LIVE配信



座長  
松井 道宣  
京都府医師会会長



講師  
糸谷 暢  
福島県医師会常任理事  
総合南東北病院外科医長



講師  
高橋 洋介  
大阪公立大学医学部  
心臓血管外科学教授



講師  
田中 いつみ  
滋賀家庭医療学センター



講師  
上田 三穂  
京都府医師会会長

次世代の医療を中心に担う若手医師の多方面に亘る挑戦が、我が国の医療のあり方を考えるうえで大きなヒントとなる。



シンポジウム特設サイト

13:30	○開会	【司会】 日本医師会常任理事 笹本 洋一
	○挨拶	日本医師会会长 松本 吉郎
13:35	○シンポジウム(①~④各20分,⑤65分)	【座長】 京都府医師会会長 松井 道宣
	①都道府県医師会役員として活躍する若手医師の取り組み 「素人が医師会の役員に！？－災害医療と、現場から始まる改革」	福島県医師会常任理事 総合南東北病院外科医長 糸谷 暢
13:55	②ロボット手術の最前線を切り拓く若手大学教授の取り組み 「ロボット心臓手術を駆使した挑戦：若手教育と医療の未来」	大阪公立大学医学部心臓血管外科教授 高橋 洋介
	③家庭医として活躍する若手医師の取り組み 「家庭医療を軸とした若手医師の多面的な取り組み」	滋賀家庭医療学センター 田中いつみ
14:15	④京都府医師会ワークライフバランス委員会が考える若手医師に向けた取り組み 「少数派の視点は、組織の伸びしろ～何者でもない私に役割をくれた京都の懐～」	京都府医師会理事 京都府立医科大学ワークライフバランス支援センターみやこ コーディネーター 上田 三穂
	⑤フロアを交えた意見交換	
14:55	○閉会	